

全国学力・学習状況調査の結果より

【学力調査の結果より】

国語科では、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」の内容において、全国平均と比較しても課題がある分野と考えられます。特に、「読むこと」に対する弱さが見られます。今後も、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる学習活動に取り組んでいきます。

算数科では、「図形」や「測定」、「変化の関係」の内容において、全国平均と比較しても課題がある分野と考えられます。今後も、数学的な概念や図形についての基本的な知識を確実に身に付けることができるよう学習活動を工夫していきます。

理科では、「生命」を柱とする領域において、全国平均と比較して課題がある分野と考えられます。今後も、学習活動の振り返りから新たなめあてを設定したり、実験の結果から根拠を示しながらまとめたりする活動に取り組んでいきます。

【課題の克服に向けた主な取り組み】

① 朝のチャレンジタイム（朝学習）

小津小学校では、朝の15分間にチャレンジタイムを行っています。今年度も「くりかえし」をテーマに、根気強く繰り返し取り組むことで確かな力が身に付くよう学習しています。

② 振り返りの充実

学習したことをノートなどにきちんとまとめ、振り返ることができるよう、ノート指導を大切にしています。また、手本となるノートを2か月ごとに表彰・掲示する「ノートグランプリ」に取り組んでいます。



③ 読むことの充実

長い文章を読むことに抵抗を示す子がいます。文字を読むことに慣れ親しめるよう、読書活動にも取り組んでいます。

④ ICTの活用

GIGAスクール構想を受けて1人1台端末の積極的な活用を進めています。低学年では、学習ソフトを用いたひらがなやカタカナなどの習熟、中学年では、ローマ字入力のタイピング練習、高学年では、調べ学習における、まとめ、発表に力を入れています。

【学習状況調査の結果より】

「自分にはよいところがあると思いますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」や「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の項目で全国平均と比較してもよい傾向が見られます。今後も自分のよさに気づき、なりたい姿を目指す前向きな気持ちが育まれるよう、子どもたちの言葉に耳を傾け、安心して学校生活を送ることができるようにしていきます。

一方で、「話し合い」についての設問で全国平均と比較してやや課題が見られます。学級の友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができるよう学年に応じた話し合い活動を積み重ねていきます。

小津小学校では、「豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子」を学校目標に掲げ、日々の教育活動を推進しています。「子どもたちのがんばりを認め、ほめたり、励ましたりする」ことで子どもたちの自己肯定感を育みます。また、相手の気持ちを感じ、自らの思いを伝えられる力をより一層伸ばしていけるよう、全校一丸となって取り組んでいます。